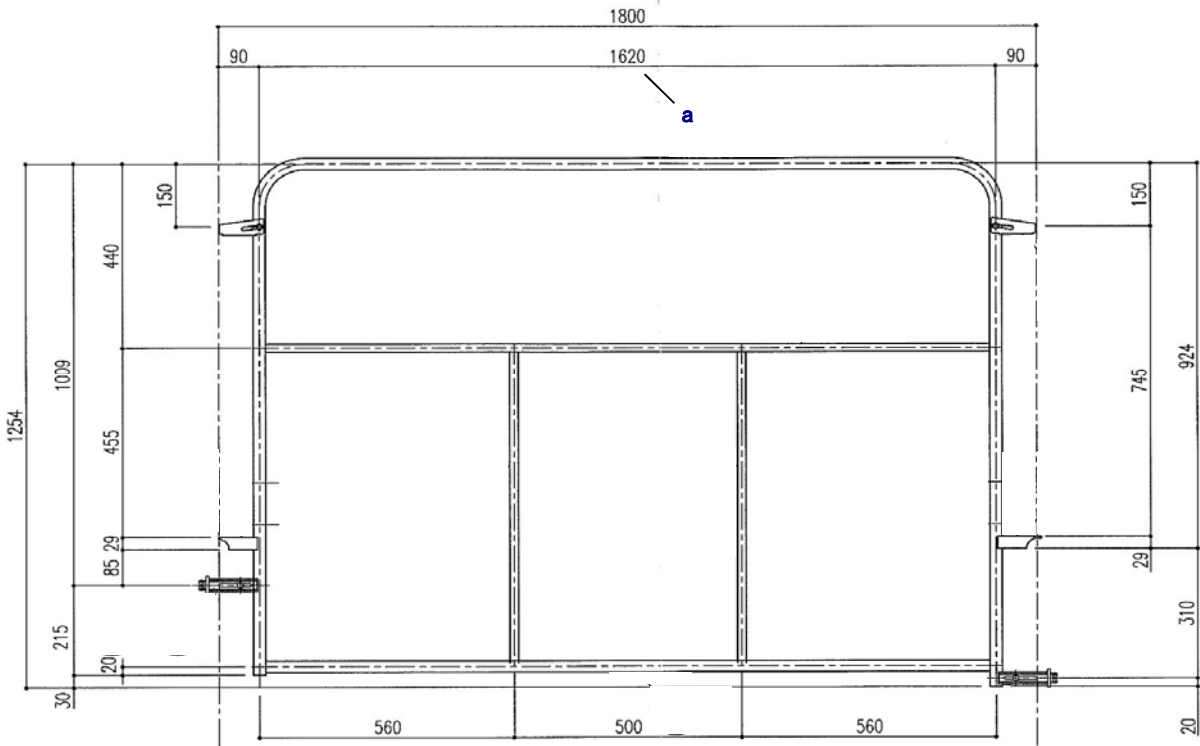


先行手摺（据置）ビテイガード



※図は1,800サイズです

【金具】



【仕様】

品名	スパン (mm)	a[上図] (mm)	重量 (kg)
ビテイガード1.8	1,800	1,620	11.7
ビテイガード1.5	1,500	1,320	10.6
ビテイガード1.2	1,200	1,020	9.6
ビテイガード0.9	900	720	8.2
ビテイガード0.6	600	430	5.2

組立手順

1 建枠の組立

従来建枠を足場計画図に従い組立て下さい。



※足場板、根がらみ等、設置する事。

最下段の道路側筋違は設置しなくても強度上問題ありません。(位置決め用に設置)

2 先行手摺枠の仮置き

先行手摺枠を横に寝かし、位置決め金具を建枠の横地にあずけて下さい。



位置決め金具

※下部固定金具のクサビは事前に解除しておく事。

3 先行手摺枠を起こす

位置決め金具を両側ともあずけた事を確認し、補助材に手を沿わせながら先行手摺枠を起こします。

●先行手摺枠下部を手前に引く感じでスライドして下さい。

※位置決め金具が横地から外れないよう注意して下さい。



4 下部固定金具をセットする。

下部固定金具に建地があたらしたら、下部固定金具のクサビをセットしハンマー等で2~3回打ち込みます。



クサビを回転する



下部固定金具の先端の孔にクサビを差し込む



クサビ後部をハンマー等で叩く
※叩き込みすぎ注意

5 上段での組立

布板を設置した後、上段に上がり、建枠等を取り付けます。



- ①布板
- ②階段
- ③建枠
- ④筋違

6 上部固定金具をセットする。

左記作業終了後、上部固定金具をセットし完成。



上部金具を持ち上げ縦回転する

以下 2 ~ 6 の繰り返し

組立時の注意事項

■道路側の筋違を取り外して使用する場合(筋違を追加した場合、この限りではない)

- ①床付き布わくを各層各スパンに用いること。
- ②組立後の足場の高さは45m以下とすること。
又、建枠(標準枠・簡易枠)の許容荷重は、34.3kN以下とすること。
- ③梁枠を使用する場合、梁枠の上部の3層以内に枠組足場用手すり枠を用いないこと。(右図参照)
- ④支保工には使用しないこと。

■筋違の有無に関係のない事項

- ①枠組足場用手すり枠を支持点・つり元・あずけ箇所にしなない、又、乗らないこと。
- ②最上段に設置された枠組足場用手すり枠は、取り外さないこと。
- ③枠組足場用手すり枠の各部は、著しい損傷、変形又は腐食のないものとする。

■安全帯取付設備として使用する場合

- ①枠組足場用手すり枠1枠につき1人の使用とすること。
- ②安全帯ランヤードのフックは、枠組足場用手すり枠の手すり材にかけること。
- ③枠組足場用手すり枠を設置した作業床と衝突の恐れのある床面等との垂直距離が3.4m以下の場合、衝突について安全性を確認した上で使用すること。

